



2025年2月発行

恵那県事務所振興防災課 家庭教育担当 大島
〒509-7203 恵那市長島町正家後田 1067-71

TEL 0573-26-1111〈内線 208〉

FAX 0573-25-7129

MAIL oshima-akihiro@pref.gifu.lg.jp

家庭教育「なう」は、恵那県事務所のHPからご覧いただくことができます。 QRコード→



PTA 家庭教育学級、少しでも多くの方に参加してもらえるために・・・

土岐市立土岐津小学校 PTA 家庭教育学級 体験型+歓談 「おしゃれリース作り」

日時 令和6年11月27日(水) 9:30~12:00

場所 土岐津小学校 会議室

講師 関ゆかり先生(フラワーアレンジメント「Kurumi くるみ」)

参加者 保護者24名



「おしゃれリース作り」体験で気持ちもリフレッシュ!

土岐津小学校では、年度当初の計画では、この時期「しめ縄作り」を企画する予定でした。ただ、家庭教育委員の話し合いの中で、「たくさんの方に参加してもらいたいよね。」「しめ縄だと『お正月』しか飾れないんじゃない?」「しばらく飾っておける「リース」作りはどう?」ということで、今回の家庭教育学級では、「リース作り」を行うことにしました。案内文書のお誘いも



『おしゃれでかわいいリースを作ります。2時間程度の作業のあとは、参加者の方と歓談できます』と魅力的な言葉でした。当初、予定人数を15名程度としていましたが、実際は24名の方が参加されました。予定よりも多くの方の参加となり、家庭教育委員さんの思いが叶った会になりました。

講師は、関ゆかり先生です。先生が挨拶の中で、「初めての人?」と尋ねられましたが、数人の手が挙がるのみ、後で参加した方に伺うと「関先生のリース作りこれで、2回目です。楽しみにして来ました。」と先生のリピーターがいらっしゃることもわかりました。作業中、参加者の様々なつぶやきが聞かれました。



本日制作された素敵なリースです。

「これどこに入れるといいと思う?」「このあたりがいいんじゃない?」

「なかなかうまくいかない。」「そんなことないよ。きれいにできてるよ。」

仲間同士の「自然なつながり」を感じる時間でした。制作活動後のコーヒータムでホッと一息、歓談も格別な時間となりました。

<制作活動を通して生まれる自然なつながり>

「この3つの小さな花は一番小さい花が少しだけ長くなっています。」(関先生)
配布された花のパーツをじっくり見た保護者は「すごい、ここまでこだわるんだ。」と感嘆の声を漏らしました。関先生のこだわりは、「素材選び」です。本日の参加者の皆さんとも対話しながら選び方、制作のアドバイスもていねいに行っていました。こんな「つながり」が味わえるのも家庭教育学級の醍醐味です。

<ここを学びたい>

「こういう時間はなかなかとれなくて、幸せな時間でした。」(参加者談)
リース作りには、正解がありません。この花をどこにどうつけようか。思い悩むこととなります。そして、自分のイメージを膨らませ、自分らしい作品に仕上げます。子育て中、こんなふうに分だけ時間で、自分らしさを表現することなどなかなか機会がありません。参加した保護者のこの一言にこの家庭教育学級の意義が見いだせるのではないのでしょうか。

多治見市立昭和小学校附属幼稚園 家庭教育学級

バランスボール講習会

日時 令和6年11月20日(水) 10:00~11:30
講師 市原 真由香さん (バランスボール講師)
参加者 保護者8名



バランスボールを使って、身体も心も整える

講師の市原さん

昭和幼稚園では、本年度5回にわたって家庭教育学級を計画しました。今回は、第4回「バランスボール講習会」を紹介します。前回は、「親同士の交流会」(9月)を実施し、子育ての悩みをグループに分かれて話し合う取組を行いました。今回は、だいぶ気心がわかってきた保護者どうし、身体を動かして健康づくりを楽しめる講習会でした。講師の市原真由香さんは、多治見市内の園、学校の家庭教育学級でも「バランスボール講師」としてご活躍の方です。講習中はずっと力強く声をかけ続けてくださる方で、講習は約1時間、あっという間でした。バランスボールを使い、体幹を鍛える動き、柔軟性を高める動きなど教えていただきました。ウォームアップから、クールダウンまであっという間でした。終わったときには、身体も心もポッカポカ、その後の自然発生的にはじまった座談会もとても盛り上がっていました。

本日の講習会の主な内容

- 1) あいさつ 講師の先生の紹介
 - 2) 基本の姿勢 ウォームアップ
 - 3) 体幹を整える
 - 4) 音楽に合わせてエクササイズ
 - 5) クールダウン
- バランスボールは、座っているだけでも全身の筋肉を使い体幹のトレーニングになるそうです。

市原先生は、「バランスボールを通じて出会った方との『つながり』を大切にしていきたい。」と話してみえます。今回の講習も、参加者の「笑顔」が絶えない明るく楽しい会でした。



楽しい雰囲気の中、しっかり体を動かしました

【参加された家庭教育委員の方に伺いました】

- 市原さんとは、知り合いの方を通じて紹介していただけました。今回は、仲間と楽しく体を動かして健康的な時間になりたいと考えて、お願いしました。今日終わった後は、本当にみんなと身体を動かして「スッキリ」しました。
- 家庭教育学級では、前回「お話し会」を行いましたので、今回は、みんなで体験できる会にしました。次回は、1月に「性」について学びます。昨年度も実施しましたが、とても盛り上がりました。今年の会もとても楽しみです。

【ここを学びたい】

- ・共通の体験で仲間づくり
バランスボールで、身体と心を整えるとともに、保護者どうしの共通体験で、会話が弾みます。音楽に乗って軽快に体を動かし仲間との交流ができました。
- ・楽しむ気持ちで
委員の方は、係に立候補されたそうです。取材中、家庭教育委員の活動を心から楽しんでみえる様子が聞けました。

恵那市立上矢作中学校、岩邑中学校、串原中学校 3校合同授業

「いのちの理由」

共催：上矢作中学校PTA家庭教育委員会

日時 令和6年12月5日(木) 11:00~12:05
 参加者 上矢作中学校全校生徒32人、岩邑中学校全校生徒127人、
 串原中学校全校生徒17人、保護者、引率職員等を含め250人
 会場 上矢作コミュニティセンター 講堂

わたしが生まれてきた理由は・・・「いのちの理由」

寺澤大祐(てらざわ だいすけ) 先生
 岐阜県総合医療センター新生児内
 科の医長。小児科の専門医でもあ
 り、指導医でもあります。現在は、新
 生児医療の最前線でご活躍中です



この会は、以前、寺澤先生のお話を聞
 いた先生の「ぜひ、みんなで聞きたい。」と
 という声からスタートしました。県の事業に
 申請の結果、開催の指定を受けることが
 決まり、PTA家庭教育委員会の共催とな
 りました。令和8年度に統合を控えた五つ
 の中学校にも呼びかけ、今回の三校合同
 授業となりました。

講演後の三校生徒の感想交流会

講師の寺澤大祐先生から「いのちの理由」をテーマに、診察(手術)で出会った赤ちゃんの治療を通して、感じら
 れたこと、学ばれたことなどのお話を伺いました。「新生児に緊急事態があるとドクターヘリを使用します。ドクターヘ
 リは早いよ。岐阜市から多治見市までは7分ぐらい、恵那市までは15分ぐらいで着きます。新生児治療も、1分1
 秒が大切です。緊張の連続です。」聴衆者の頭には、テレビ番組「コードブルー」の一場面が浮かんでいたよう
 です。懸命な治療で赤ちゃんの命を救う先生のお仕事の尊さがわかりました。

生まれたばかりで治療を必要とする赤ちゃんが懸命に生きようとするお話、その家族のエピソードなどは、聴衆の
 心を打つものでした。保護者の中には涙して聴いている方もみえました。中学生の心にも強く響いたようで、その後
 の感想交流では、3校の中学生がかわるがわる自分の体験を交えた感想を発表していました。

【生徒の感想】(前後略)

いのちの大切さというのは分かっているつもりだ
 ったのですが、改めて命に関わる仕事をしている人の
 話を聞いて、今この瞬間って凄い奇跡なんだなって
 実感しました。最近よくお母さんと喧嘩して、酷い事
 を言うてしまうのですが、あんなに小さい命が幸せに
 なるように頑張っているのに、満足に呼吸が
 できて、喋ることができて、動ける私達がなんでこん
 なにお互いを傷付け合っているのだろうと、凄く恥ず
 かしくなりました。人には役割があると寺澤さんは言
 いました。私は今まだ中学生です。寺澤さんみたいに
 直接人を助けるお医者さんとかそういう仕事に就く
 かは分からないし、予定もないですが、自分の役割、
 生まれてきた理由、私が私でいる理由というのを見
 つけられるように過ごしたいなと思います。後は、身
 近な人達つまり命を大切に過ごしたいです。

【保護者の感想】(前後略)

先生の言葉の一つひとつが、優しくもあり、思い
 の強い言葉で、胸がいっぱいになって、何度も涙が
 出てきました。世界中のみんなが毎日元気にいら
 れるといいなと心から思いました。管を挿したれん
 ぐんの、今を一生懸命に生きるキラキラした輝く瞳
 を見て、私も頑張らなくちゃなって思わせてくれまし
 た。先生の言葉「大丈夫だよ、ぼくも見たことない
 からね」「みんなと一緒にじゃなくていいんだよ」「自
 分のふっつうも大切にして、相手のふっつうも大事に
 してあげよう」優しい言葉が子どもたちにどんなふう
 に響いたかな。中学生にぴったりの言葉がけじゃな
 いかって思いました。毎日子育てに追われ、今日
 がくる奇跡をわかっているようでわかっていなか
 ったけれど、改めて大切にしたいと思えました。今
 日、帰宅した息子と話すのが楽しみです。

【ここを学びたい】本物に触れさせたい 今日講師、寺澤先生のお話は、テーマ通り自分の「いのちの理由」を問
 いかけるものでした。未熟児で生まれ、また、病気と闘い、今ある「いのち」を精一杯生きようとする新生児のお話は、
 進路選択を控え自分の生き方を模索中の中学生とその保護者の心に響く内容でした。新生児医療の最前線で活躍
 する方の生き方・学びは、中学生のこれからの生き方の指針となったことと思います。

令和7年度家庭教育学級リーダー研修会のご案内



令和6年度 この研修に参加された方の感想(土岐市:保護者)
「恵那県事務所長のPTA会長の時のお話がとても印象的でした。」

今年度の恵那県事務所、清水浩二所長は、お子さんが小学校に通ってみえた頃、PTA役員を7年間務められ、そのうちの3年間、PTA会長をしてみえました。そして、第61回岐阜県PTA研究大会では、岐阜市の実践発表もされました。テーマを「大きな(わ)で育てよう豊かな心～未来へはばたけ 夢をもって!～」とし、コミュニティスクールとの連携、地域の大人と子どもがふれあう「ふれあいデー」の充実、子どもたちの要望で実現させた学校での合宿等々、たくさんの楽しく有意義なPTA活動の実践についてお話されました。参加された方の心に残るお話でした。今でも、家庭教育について高い関心をもってみえます。

来年度も、この研修を通して、各園、学校の家庭教育の実践を交流し、親子が元気になる家庭教育学級づくりを目指していきます。新役員の皆様にもよろしくお伝えください。

令和7年度家庭教育学級リーダー研修会(乳幼児の部、小中学校の部)について

今年度まで、各市で実施していましたこの研修会を令和7年度は、東濃地区を東部と西部に分けて2会場で実施します。(現時点での予定となります)

5月9日(金)東濃西部地区(多治見市、瑞浪市、土岐市) 会場:東濃西部総合庁舎

乳幼児の部 午前 10:00～11:45 小中学校の部 午後 2:00～ 3:45

5月12日(月)東濃東部地区(中津川市・恵那市) 会場:恵那総合庁舎

乳幼児の部 午前 10:00～11:45 小中学校の部 午後 2:00～ 3:45

内容(乳幼児の部、小中学校の部共に)

- 1 岐阜県の家庭教育 家庭教育支援条例について
- 2 東濃地区の乳幼児学級、家庭教育学級の実践について
- 3 グループ交流会(昨年度の実践、今年度の予定等)



○乳幼児の部においては、来年度から参加者が減少することが予想されますが、市によっては、多くの園から職員、保護者の皆さんの参加をいただいています。他市の園などの情報を交流することでより有意義な研修となります。多くの園からのご参加を期待しています。

○小中学校の部においては、昨年度も多くの学校より職員、保護者両名のご参加をいただきました。来年度も引き続き、多くの皆様のご参加を期待しています。(参加率98%)

○土岐市、瑞浪市の皆様には、会場が多治見市となり、中津川市の皆様には、会場が恵那市となります。市外での開催となりますが、変わらずのご参加をお願いします。

○来年度は、過去3年間と異なり各市の枠を越えての参集型の研修会となります。県から家庭教育についての説明とともに、各園、各校の交流が他市の皆さんとできるところが良さでもあります。多くの公民館、園、学校、教育委員会、はじめ家庭教育関係各機関、保護者の皆さんの参加により、家庭教育推進の輪を広げていければと考えています。よろしくをお願いします。